

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	総合業界研究3
科目基礎情報					
開設学科	音響芸術科	コース名	全専攻	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	なし				
担当教員情報					
担当教員	小崎	実務経験の有無・職種	有・エンジニア・ディレクター		
学習目的					
就職活動やインターンシップ、研修などを通して現場の雰囲気や実務内容と自分自身が描いてきた理想とのギャップを体感する時期だと思われる。その中で生まれる悩みや問題点を、個人個人に合わせて解決する方法を講義していく。また社会に出て常識とされる時事問題などを題材に、何か物事に触れた際に必要な情報をリサーチし、意見を持ち、それをまとめて伝える事の出来る人間の育成を目的とする。音楽業界はある意味特殊な業界の一面もあるが、生き残る為には他業種との交流の機会も必ずある。その中で必要とされる常識範囲の知識やコミュニケーション技術を習得する。					
到達目標					
就職試験を通して自覚していく学生と社会人のギャップを卒業までに可能な限り埋めていく事を最終目標とする。各職種の業務内容とその相互関係について詳細に理解。最終的にそれらの職種と自分自身の希望する職種の関係性を考え、オリジナリティにあるビジネスプランを就職面接の段階から企業に提案出来る人材育成を目指す。					
教育方法等					
授業概要	前半では1年生で学んだ各職種に対して、専門分野以外であっても意欲を持って仕事に望む方法を学んでいく。授業毎に志望動機シートを配布。各職種の業務内容を再確認すると共に、その職種と自分自身の適正や長所と短所を比較して文章化する練習を行う。授業の後半で回収して解説、模範的な解答にこだわらず個性を活かした自己PR能力を伸ばしていく。また、1年生からの続きで面接対策シートも配布。様々な質問に対して短時間で自分の意見をまとめる練習を行う。後半の授業ではまず就職してから起こり得る問題の対策を面接対策と同じ形式で実施。その後、時事問題に対するリサーチとまとめ方の練習に入る。旬なニュースをピックアップしていくので、その情報をネットでリサーチ、まとめて自分自身の意見をそこに付与する能力を身につけていく。				
注意点	リアルタイムな音楽業界の講義を行うため普段の授業態度が高い評価を占める。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験する事ができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	40%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 （口頭・実技）	20%	授業時間内に行われる発表、内容について評価する		
	平常点	40%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	志望動機考察1		プロダクションマネジメント事業部に就職した際の志望動機を明確にする。		
2回	志望動機考察2		レコード会社制作部に就職した際の志望動機を明確にする。		
3回	志望動機考察3		レコード会社宣伝部に就職した際の志望動機を明確にする。		
4回	志望動機考察4		レコード会社デスクに就職した際の志望動機を明確にする。		
5回	志望動機考察5		映像制作会社ADに就職した際の志望動機を明確にする。		
6回	志望動機考察6		テレビ番組ブックングアシスタントに就職した際の志望動機を明確にする。		
7回	志望動機考察7		レコーディングスタジオブックングに就職した際の志望動機を明確にする。		
8回	志望動機考察8		MAスタジオブックングに就職した際の志望動機を明確にする。		
9回	志望動機考察9		著作権管理会社に就職した際の志望動機を明確にする。		
10回	面接対策1		面接対策として、配布の質問に時間制限を作り解答、各質問に対する解答例を提示、完成。		
11回	面接対策2		面接対策として、配布の質問に時間制限を作り解答、各質問に対する解答例を提示、完成。		
12回	面接対策3		面接対策として、配布の質問に時間制限を作り解答、各質問に対する解答例を提示、完成。		
13回	面接対策4		面接対策として、配布の質問に時間制限を作り解答、各質問に対する解答例を提示、完成。		
14回	面接対策5		面接対策として、配布の質問に時間制限を作り解答、各質問に対する解答例を提示、完成。		
15回	まとめ 試験対策		前期試験対策として、これまでの授業内容の理解を再確認する。		